

あすのば給付金 6000 人実態調査

北海道ブロック 子ども・若者の「生の声」

【小学生】

親がママしかいない。もっとママとの時間が欲しいけど仕事でワガママ言えない。熱とか出して仕事休んだら有給なくなるしお給料減っちゃうって言う。

(小学6年生、男性)

学校に行きたくない

(小学6年生、男性)

【中学生】

携帯が欲しいけど買ってもらえない。家の中が寒くて手が冷たくなる。朝読書の本が欲しいけど買ってもらえないから同じ本をずっと読んでいる。お風呂は1週間に1回お湯を替えている。お腹空いてもご飯がない時がある。お母さんはほとんど夜ご飯を食べていない。洗濯物を干したり畳んだり、茶碗を片付けたり家の手伝いをしてお小遣いを貰って貯めている。いつもは10円だけど、時々30円や、お使いに行ったら、お釣りをくれたりして、貯めてお母さんの誕生日にプレゼントを買いたい。勉強を頑張りたい。

(中学2年生、女性)

お金がなくてほしいものが買えない。

(中学1年生、女性)

大人にばかりお金が使われているような気がする。子どもに優先的に使って欲しい。子どもはお金を稼げないから、子どもに一切お金がかからないようにしてもらいたい。

(中学3年生、女性)

ひとり親だが、母は低所得者にはならないらしい。でも、物価高騰などで、低所得者に給付金が支払われても、うちは支払われない。手当も減額されてるので、家計が苦しくなってるのが分かる。それでも母は、僕達のために働いてくれてる。来年、受験生だけど、高校に入学したら、もっと母の負担が増えるのかと思うと申し訳ない。

(中学2年生、男性)

買ってもらえないことが多い。

(中学1年生、女性)

1年半ぐらい母親と連絡が取れなかったが、祖母が、母親を探してくれて、今は母親と一緒に生活をしている。地方に移住したため、学校となじめず、学校を休む事が多かったが、今は少しずつ学校に通い始めている。

(中学2年生、女性)

家計を助ける給付金の制度をもっと考えてほしい。

(中学1年生、女性)

【高校生】

お金を頂いていること、いただかなくてはならない環境に嫌気がします。どうして、差ができるのか…。友人にも話せません。ですが、このように学校に通えていることはとても感謝しています。

(高校3年生、女性)

進学したいが奨学金で借金するの不安で就職か進学か悩んでいる。

(高校2年生、男性)

高校の授業でパソコンかタブレットが必要になり準備が遅れました

(高校1年生、男性)

スマホも新しくしたいけど、お金がかかるから無理と言われた。母1人の給料では厳しく、節約の毎日です。

(高校1年生、女性)

期待する事はない

(定時制高校4年生、男性)

今年8月、祖父の施設費が何故か二万円値上がりしました。それまで社会福祉法人の減免の対象だったのですが、「所得が増えたから対象外になった」との通知が届きました。役所に尋ねると、増えた所得というのは非課税世帯への給付金の六万円でした。祖父は認知症なので、祖父の金銭のやりくりは母がしており、たった一度の六万円を受け取ったせいで、年間24万円支出が増えることになり、母は途方にくれています。なんのための給付金なのか、国は貧乏人老人からさっさと死ねばいいと思っているのでしょうか。そんなことなら60000円なんか受け取らなかったのに。あとから言うなんてひどすぎます。ちなみに来年のこともまだ決まってないそうです。対処の仕様もありません。役所はずっと問い合わせ中のまま、返事もくれてません。

(高校2年生、男性)

家計が苦しいんで国の援助金が欲しいです。母は持病が有るから、これ以上無理に働かせてたくない。

(通信制高校3年生、男性)

高校のお昼を給食にして欲しいです。

(高校1年生、女性)

【大学生・専門学校生】

私は給付型を利用できており、とてもありがたいですが、もっと利用できる人が増えたらいいなぁと感じています。周りの友人が貸与型で、返済が厳しいとよく聞くので。
(四年制大学3年、男性)

自分の話は聞いてもらえない。自分の意見が通らない。
(四年制大学1年、男性)

ひとり親の母が病気になり将来の家計が心配です。
(四年制大学2年、男性)

学費の一括納入がしんどかった
(専門学校・各種学校3年、女性)

母は、父親と離婚しても、慰謝料なども貰えていなかったのも、大変だった。思春期で、母親とぶつかる事もありました。
(専門学校・各種学校1年、男性)

中学生までは、手当がありますが、高校生からの方が、もっとどんどんお金がかかるのに、手当が減るのはどうしてかなと思います。大学、専門学校に通うにも、小学生や中学生よりかなりかかるのに、手当がなくなるのはとてもきついです。お金がかかる年代と、手当が反比例だと思います。物価高騰で、給付金などありますが、児童手当対象ばかりに給付金いきますが、対象でない学生も対象にしてほしいです。大きくなるほど、お金がかかるということ、わかってもらいたいです。経験がないとわからないことですよね。
(専門学校・各種学校2年、男性)

届かない要望・意見は、書いても愚痴にしかならないと思っている。
(四年制大学2年、男性)

毎月家計が厳しく、どこかからお金を借りたりしている。子供支援とかを行うならひと家庭に、ではなく子供の人数に対しての支援をして欲しかった。物価も最低賃金も上がるのに、年の税金がかかる金額がそのままだと今までと同じ金額しか稼げない。
(専門学校・各種学校2年、女性)

誰もが教育を受けられる支援制度が大事だと思う。
(専門学校・各種学校1年、男性)

お金が今よりも掛かるようになったら、生活にゆとりは一切なく、生きているのが苦に感じるようになると思います。バイトを増やしすぎると学業に影響し、周りについていけなくなると言った不安も出てきます。なので、学生などに対する税の緩和など国や自治体が支えるようなサポートが広がると生きやすくなります。
(専門学校・各種学校3年、男性)

【就労している若者】

働いても、給料は上がらない。本当にお金がかかるのは、中学校、高校になってからだと思う。
(契約社員・派遣社員・嘱託社員、20 歳、男性)

コロナで仕事が減って、パートやアルバイトには、支援が無かった

(パート・アルバイト・非正規職員、26 歳以上、女性)

【就学・就労していない若者】

この世界の、この国の、今の社会の未来に、絶望しかありません(寧ろ未来などくるのでしょうか)。辛いこと、困ることしか増えていません。100 歳超えのおばあちゃんになるまで生きたいですが、今のままではまず無理ですよね。大人が壊そうとしている、壊してしまっている私たちの人生を、未来を、(もう失われてしまったものも多くあるので全ては無理ですが)可能な限り努力して、正常に戻して返してほしいです。どこに倫理観があるのでしょうか。何のための言語なのでしょう。大人が言語で和解する気もないのに、出来てもいないのに、力で従わせて操ろうとするのに、子供に「暴力はダメだよ」なんてよく言えたものです。自分たちが壊した社会・現実を見つめ、何とかしてほしいです。この社会を世界を受け継ぐことができたなら、尻拭いをするのは、修復していかねばならぬのは、辛い思いを抱えていかなければいけないのは、無力なうちにこんな世界にさせられていた他でもない私達なのです。
(20 歳、女性)

北海道ブロック 保護者の「生の声」

物価高騰により今まで生活できていた収入では生活できなくなっていて、貯蓄もなし、借り入れがどんどん増え、返済できるかどうか不安。（30代、母子世帯、女性）

周りのほとんどの子が塾に行っていますが、行かせる経済的な余裕と送り迎えの時間がありません。このままでは学力格差が気になりながらもテコ入れができていません。（30代、母子世帯、女性）

辛かった事、年金生活の親からお金をもらう事。学生の間は、児童扶養手当を受けられるようにしてほしい。子供がバイトをしたくても採用してもらえない。（50代、母子世帯、女性）

自分の食べるもの着るものを節約して、心まで寂しい気持ちになった。持続的な給付金や、手当があれば良いと思う。ひとり親の限度額の金額を増やして欲しい。（40代、母子世帯、女性）

子供に我慢させる事が大変辛いです。宿泊研修や修学旅行は、せめて行かせてあげたい。双子なので一回の出費が大変。（40代、母子世帯、女性）

食べ盛りと言うこともあり、どうしても食費がかかってくるが、限られているため、主食のご飯は、週2回位しか出せなくなった。後は麺。麺の方が単品で終わるため、食費が安く済むため、麺の回数がどうしても増える。朝ご飯の用意もできなく、夜ご飯も食べない日もある。高熱費節約のため、早くに電気を消し、布団の中で暖を取っている。肉も買えなくなった。高校卒業後は、大学へ行きたいと行っているが、いかせてあげられるだけの予算がない。早急に、大学進学に対しても給付金なり、進学を諦め無くても良い制度を作って欲しい!!（40代、母子世帯、女性）

雪の降る地域に住んでいるので、防寒着や、スノーシューズの買い換えが必要だったり…インフルワクチン接種や、高校の通学も、バス通に変えなきゃならなく、節約しきれない出費がかさむ為、生活保護のように、冬は児童扶養手当や、何かしらの給付や、上乗せがあると助かります。（50代、母子世帯、女性）

物価高騰で、冬の灯油代（暖房費）の捻出をどうしたらいいか悩んでいる。北海道、旭川ではもう暖房を使用しないと行けません。昨日は、暖房の使用を我慢してましたが、子ども達が風邪をひいてしまい、使用せざるを得ませんが、どうやって支払おうかなやんでいる。（40代、母子世帯、女性）

都市ガスだけ料金軽減されているが、うちはプロパンガスなので軽減して欲しい。お風呂入る回数を減らして頑張ってる。なぜ、都市ガスだけなのかわからない。北海道は、ほとんどプロパンですよ。北海道は、さむいから灯油代を出して欲しい。去年は、あまり焚かずに居たら、風邪ひいて大変だった。出す地域と出さない地域が無いようにお願いします。

(40代、母子世帯、女性)

物価や電気代が上昇しているのに、給与は変わらない。北海道に住んでいるので、冬は灯油代の負担が大きい。会社からの暖房手当もない。賃金が少しでも上がるようにしてもらわないと苦しい。

(40代、母子世帯、女性)

わが町には、障がい児が利用出来る施設もなく、ひとり親家庭で、子供が小さい頃預かる場所もなく、働きたくても常勤で働く事も出来ませんでした。小さな町での生活は、かなり厳しく、毎日小銭と睨めっこしていました。現在は、何とか常勤で働く事が出来る様になりましたので、それまでの借金を返して行っています。しかし、これまで生き延びてこれたのも、様々な支援のお陰で今があると思っています。

(50代、母子世帯、女性)

生活保護世帯での医療機関にかかることへの抵抗、嫌な思いをしながらでも医療機関にかかるしかない現状。ドクターストップがかかっているけど、就労の話をされる。(市役所、大家さんなど)生活保護で生活していくことが、北海道は、冬は特に暖房費がかかることもあり厳しい。

(50代、母子世帯、女性)

娘2人とも遠距離通学のため、JRとバスの両方定期代がかかり、経済的負担がとても大きいです。また、インフルエンザ代金も高いため、母子家庭に向けた減免などしていただけたら、少しは不安が減るのではないかなと思っています。

(30代、母子世帯、女性)

働きたくても、夜遅くの仕事の募集ばかりで、断ると面接で落とされる。高校や、その後の学費や、受験にかかる費用などが高すぎて、行かせてあげられるか不安なので、無償化を勧めて欲しい。私立高校に前もって入学金を払って、公立に受かっても返還されないのを無くして欲しい。

(30代、母子世帯、女性)

私があきらかに病気なのですが、検査のお金が出せず、数年間苦しんでいます。

(50代、母子世帯、女性)

今、学校に通っているのですが、市でやっている無利子の貸付金などを調べて借りたいと思っていたが、保証人が居なかったり、60才以上で、制度を受けることさえ出来ない事がある。働き始めたら返すことは変わらないので、そのような人たちにも利用できるように考えるべきだと思う。

(30代、母子世帯、女性)

・ 幼い子どもが感染症などになると、預け先がない片親は仕事を連日休まざるを得なくなるので、有給では間に合わなかったりするので、コロナの際あったような、証明書があれば取れる特別有給制度を作って欲しいです。

・ 平日フルで働いているので、週末は平日にできなかった家の事に追われたり、子どもがいるので、自分の休まる時間が全くないです。リフレッシュするために子供を無料で預けられる制度がほしいです。精神的に追い詰められてしまう事が多々あります。

・ 仕事から帰ってきて、買い物やご飯の支度など疲れたり体調が悪くできない事が多々あるために、お惣菜になってしまい、健康面の心配と、経済的負担がどうしても働いてると多くなってしまうので、ご飯をたくさん作った方から、安価に譲っていただけたりする制度があったら嬉しいです。

(30 代、母子世帯、女性)

2 人の子供を進学させましたが、大変さや厳しさを改めて感じています。ふたりと別居になってからの、自分と子供達の生活費や光熱費、食費が正社員の給料のみでは賄えなく、私も子供達も直ぐアルバイトを始めましたが、毎月赤字で借金するしかなく、収入が低い為、借金すらも出来なくなり、途方にくれる毎日です。病気も持ってるため、死ぬことも何度も考えましたが、子供達の進学が無駄にならないよう、2 人が就職できるまで、底辺にいても努力していきたいと思います。あすのば様から給付金をいただいた時は、涙が出るくらい嬉しかったです。本当にありがとうございます。これからも苦しんで生活している幼い子供達を助けてあげてください。

(50 代、母子世帯、女性)

日々の生活そのものが辛いと感じています。生活費や支払いを、どうしたら改善出来るのかを、いつも考えて、目の前の事をひとつずつ解決していくのがやっとです。子供達がいなかったら、人生を諦めて良いと思える状況ですが、子供達が学校を卒業出来るまでは、最大限努力していきたいと思います。

(50 代、母子世帯、女性)

高校を卒業して、専門学校に通うようになりましたが、児童扶養手当がなくなり、子供の支援が 18 歳までとなり、様々な支援にひっかからなくなっている所以、せめて学校卒業するまでになると助かります。

(50 代、母子世帯、女性)

光熱費も生活費も全て限界。役所は他人事。雰囲気も好ましくない。相談相手もいないし、病気になっても医療費が高過ぎて行けない。

(40 代、母子世帯、女性)

病気で障害者です。国や自治体からの支援をもっと手厚くして頂きたいです。

(40 代、母子世帯、女性)

子供が習い事や塾に行きたがった時に、やってあげられなかった。家から学校にバス通学していたのに、そのバスが廃止になって寮生活になった事。食料や日用品がちゃんと買えない事。私が病気で働けなくなった事。

(50 代、母子世帯、女性)

私には5人の子どもたちがいて、上の3人は独立し、今は二人の子供と母子家庭として暮らしています。児童扶養手当はものすごく助かっています。裕福とは言えませんが、オシャレに明るくを子供たちとモットーにして楽しい母子家庭です。ですが、毎回、こどもの中学入学、高校入学の費用負担でものすごく苦しくなります。教材は仕方ないと思うのですが、3年間しか使わない制服や体操着、そこに名前を刺繍し、学年ごとに体操着の色が違うなど、使い回しができない、制服なども中古購入も難しくなっています。これは本当に改善していただきたいです。制服はもっと安価で洗濯可能なもの、体操着などに苗字の刺繍など必要ないと思います。

(40代、母子世帯、女性)

税金の支払いが大変。節約したくらいではお金が足りないの、全くやりたくない仕事でも無理しなければならない。ずっと、どこへ行っても非正規雇用なので、ボーナスはほぼない。30年前から、どんなに頑張っても、振り込まれるのは、一月に10万円くらい。老後に年金も満額もらえたとしても、国保なので生活出来ない事が今からわかっているの不安しかない。母子家庭への偏見に長い間、苦しんだ。いつのまにか、性格もマイナス思考となり、仕事にも影響しているように感じる。

(40代、母子世帯、女性)

私は運良く支援を受ける事が出来たので、感謝しています。色々な支援があるにも関わらず、知らない、分からないという方が減ると良いと思います。本当に困っている方々を見つけ、助けて欲しいと願います。

(50代、母子世帯、女性)

元々専業主婦だったので、離婚後子供と生活を始めてからずっと家計は苦しいまま。それがずっと続いている状態です。子供が大きくなって、手当もなくなったので、ますますきつくなっています。手に職があるわけでもなく、ブランクもあり、パートばかりでなんとか繋いできたので、今後の年収アップなどの見込みもなく、不安しかありません。

(50代、母子世帯、女性)

貧困からぬけだせない、原因は分かっています 私の仕事が安定しない

(50代、父子世帯、男性)

※“母子世帯/父子世帯”は、離婚調停中や配偶者・パートナーと別居中などを含んでいる。